

○災害に強い国土幹線ネットワークの機能確保



2環状8放射

～広がれ!北海道高速道路ネットワーク～

北海道横断自動車道 占冠～十勝清水
※4車線化事業中

北海道横断自動車道 蘭越～倶知安
※計画段階評価中

高規格幹線道路の開通率

※北海道局調べ

未開通延長割合
・北海道 **約33%**
・全国（北海道を除く） 約11%

北海道縦貫自動車道 中川～天塩
※計画段階評価中

北海道横断自動車道 女満別空港～網走
※計画段階評価中

北海道横断自動車道 別保～尾幌
※計画段階評価中

旭川十勝道路 上富良野～中富良野
※計画段階評価を進めるための調査

空港	国管理	
	特定地方管理	
	地方管理	
港湾	国際拠点	
	重要	

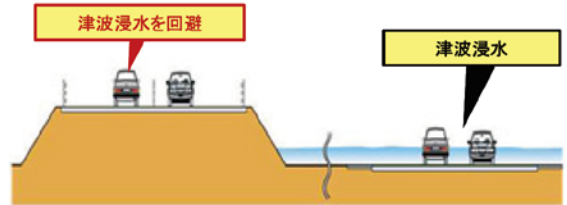
高規格道路	供用中 (4車線)	
	供用中 (2車線)	
	事業中	
	未着手	

■浸水を回避する高規格道路等の整備



《釧路外環状道路、北海道横断自動車道(本別～釧路)》

《国道38号、44号》



【津波浸水を回避する高規格道路 (釧路外環状道路、北海道横断自動車道(本別～釧路))】

国道38号、44号付近の津波浸水回避が可能となり、災害時における迅速な避難及び救援活動が可能。

【出典：令和5年度北海道局関係予算概算要求概要(令和4年8月)】

○災害に強いまちづくりの推進

■高潮・侵食・津波対策施設などの海岸保全施設整備

■市街地における地区レベルの避難路・避難施設等の整備

■住宅や建築物の耐震化の促進



度杭崎海岸(森町)



港町地区(厚岸町)



市民会館(函館市)

5 年加速化対策の効果発揮事例

【河川事業】望月寒川放水路（札幌市）

- 都市化などによる流出量の増大、集中豪雨の増加などにより、平成12年、平成14年、平成26年と水害が発生
- 下流域は住宅密集地であり、川幅を大きく広げる工事が困難

位置図



整備内容



現地状況



整備効果

洪水を分流させ、浸水被害を防ぐ

- 望月寒川上流域にて放水路を整備し、洪水を豊平川へ分流
- 流域からの流出量50m³/sに対し、放水路で45m³/sを分流し、下流の市街地区間での流量負担を軽減



【海岸事業】度杭崎海岸（森町）

- 度杭崎海岸では、H16低気圧による高潮被害（住居一部破損3棟）を踏まえ、海岸護岸及び消波工等の対策を実施。
- 「防災・減災、国土強靱化のための5年加速化対策」として対策を加速し、令和17年度完成予定。
- 上記整備の完了により、計画規模の高潮に対して被害を防止。（浸水面積約38.7ha、浸水家屋約204戸）

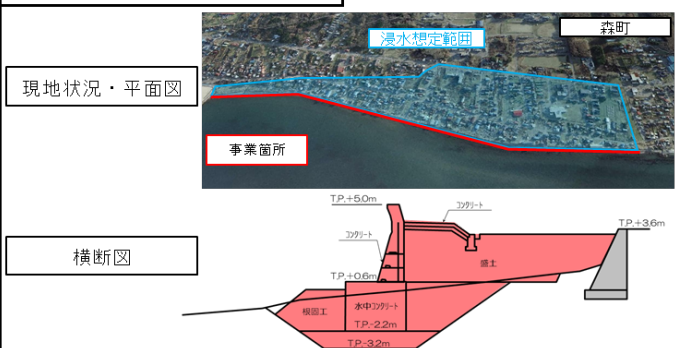
位置図



整備内容

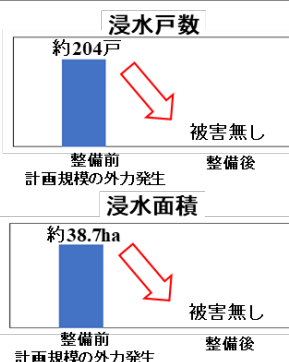


現地状況・平面図・横断面図



整備効果

護岸を整備することにより、背後の人家等への浸水被害が防止される。



【道路事業】本別浦幌線 第6浦幌橋（浦幌町）

- 当該路線は本別町と浦幌町の防災拠点や道の駅を結ぶ第2次緊急輸送道路。
- 今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率が26%以上の地域に該当。
- 地震による倒壊の影響で、避難路・物流道路としての機能を消失し、道路網断絶の恐れがある。

位置図



整備内容

耐震補強前



耐震補強後



現地状況



整備効果

耐震化を図り倒壊リスクを解消し、安心・安全な道路網を確保

- 5か年加速化対策により、第6浦幌橋の耐震対策を実施。
- 耐震補強を行い、地震による倒壊リスクを解消し、安心・安全な道路網を確保。

【道路事業】洞爺湖登別線 落石対策（壮瞥町）

- 当該路線は洞爺湖町の洞爺湖畔・洞爺湖温泉街を経由して国道230号と登別市を結ぶ片側1車線の第2次緊急輸送道路である。
- 法面には不安定な転石が多数存在し、大雨や自然風化を起因とした落石により、通行止めが生じる恐れがある。
- 通行止めとなった際、物流や災害支援に多大な影響を及ぼす。

位置図



整備内容

転石状況



施工状況



現地状況



整備効果

通行止めリスクの解消

- 5か年加速化対策により、落石対策工（法砕工）を行い、落石による通行車両への被害及び通行止めのリスク解消に向けて整備。

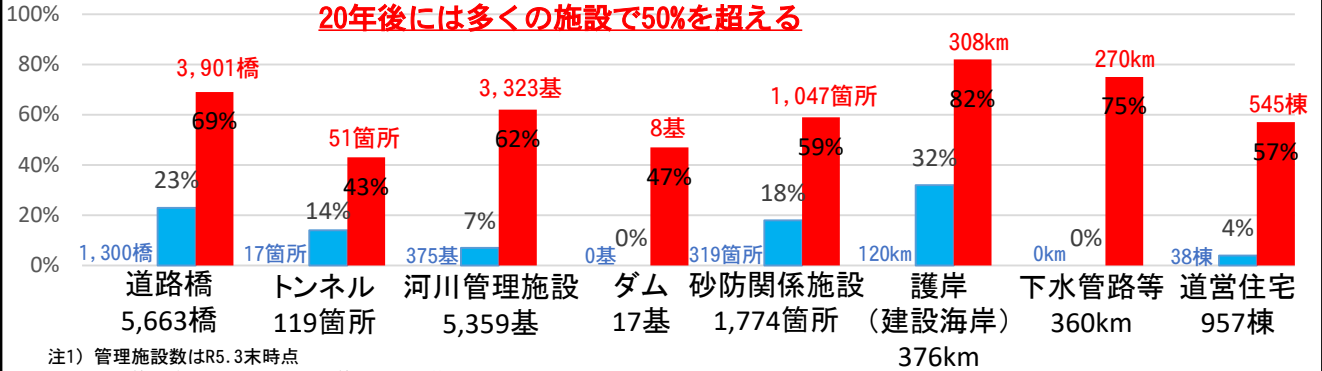


待ったなしのインフラ老朽化対策

●建設後50年を経過する施設の割合

■:R5.3末現在 ■:20年後

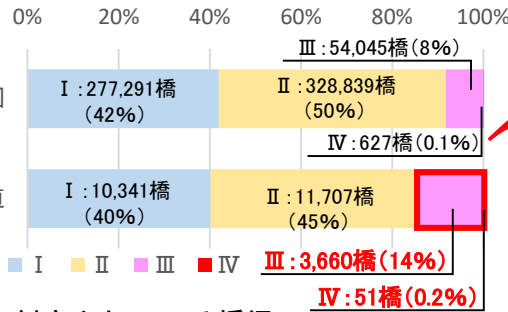
20年後には多くの施設で50%を超える



注1) 管理施設数はR5.3末時点
 注2) 河川管理施設は、堰、樋門樋管、水門、排水機場
 注3) 砂防関係施設は、砂防堰堤、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設、雪崩防止施設

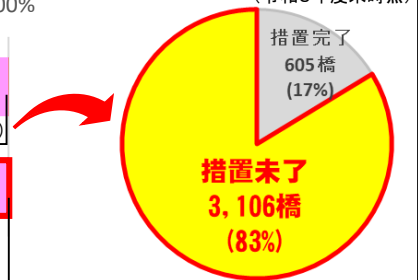
●橋梁の令和3年度末時点の点検結果

判定区分	
I	健全
II	予防保全段階
III	早期措置段階
IV	緊急措置段階



※グラフは地方公共団体を対象

北海道内の健全性Ⅲ・Ⅳの措置状況 (令和3年度末時点)



道路メンテナンス年報(令和4年8月)

■健全性の診断においてⅣと判定されている橋梁



市道鷹泊三合沢線 (三合沢線橋) (深川市)



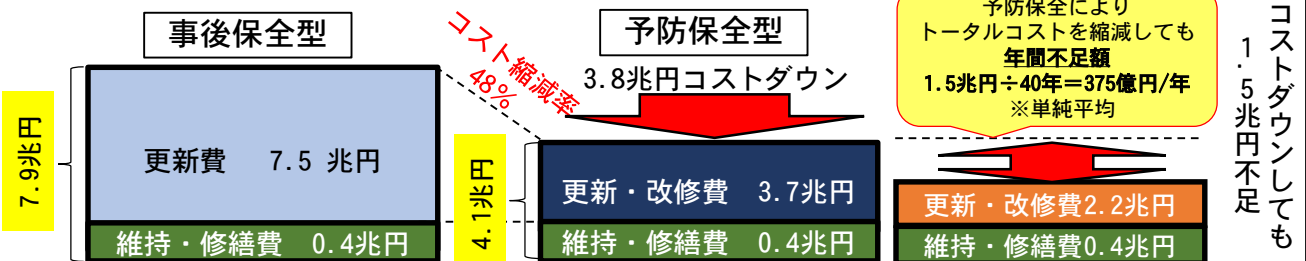
市道沼ノ端西2条線 (勇払1号橋)



村道中島公園線 (中島橋) (音威子府村)

●予防保全と事後保全の対策費用差額

※道が管理する施設の維持管理・更新等に係る経費の見込み額 (今後40年間の推計)



【出典:北海道インフラ長寿命化計画(行動計画)(令和5年3月)】

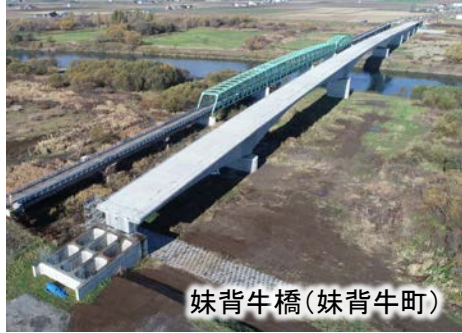
予防保全への本格転換を図り、 計画的な老朽化対策を推進

<要望>

- 老朽化対策予算の確実な確保
- 長寿命化や維持管理に係る制度の創設や財政支援の充実・強化

○老朽化対策予算の確実な確保

▼道路（橋梁）



▼河川管理施設（樋門）



▼海岸保全施設



▼公営住宅

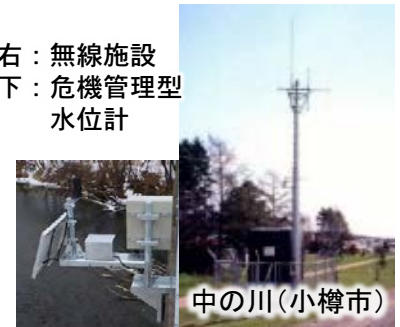


▼下水道ポンプ施設



▼観測施設（河川情報）

右：無線施設
下：危機管理型
水位計



■老朽化対策における新技術の開発・導入による効率化・省力化



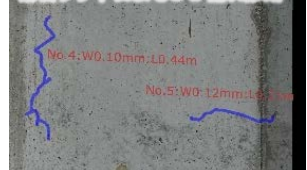
離岸堤などの海岸保全施設の健全度把握のためドローンを活用し、3次元測量を実施。（従来は、船上からの目視と写真による点検）

ドローンによる橋梁の点検と画像診断

ドローンによる撮影



解析ソフトによるひび割れ診断



撮影写真からコンクリートのひび割れを自動検出し、幅・長さをデータ化

■インフラ長寿命化に向けた連携体制の推進

職員の技術力確保



市町村等への支援



利用者の理解と協働の推進

